

イヌガラシ (犬芥子)

名前の意味：カラシナに似ているが、辛くないので、イヌの名前をつけた。イヌはにているが、役に立たないものに付けられる。

分類：双子葉類、アブラナ科、イヌガラシ属

(アブラナ科の栽培植物：アブラナ、ダイコン、ワサビ、カブ)

好きな場所：日当たりのよい湿った道ばた、田んぼのあぜ

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：茶色味のある枝分かれする茎。黄色くて小さな花。小さくて棒のような実。

種子の運ばれかた：実がはじけて飛ばされる

花弁の数：離弁、4裂

花の時期：4 - 6月

食べ方：食べない

見分け方：スカシタゴボウは、実がバナナのようにふくれている。

ナズナやタネツケバナは花が白い。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)